

7/20 今井

論説

2023-7-20

ガソリン小売価格の推移
7月10日時点 173円30銭



全国のガソリン価格が十日時点
で一升あたり一百七十三円
で走破した。週連続
の値上がりで、四八円を超える
との見方も出

ている。

ガソリン価

格の高騰は物

流全体に与え

る影響が甚大

で、日々の暮

らしはある

ん、中小企業

や商店街が被

る打撃を受け

知らない。政

府は価格抑制に向けた具体策を早

めに講じる必要がある。

政府はガソリン価格を抑制する

ため、昨年一月から石油元売り会

社に補助金を支給しているが、補

助金一路伸びて来たため、六月か

ら支給額の改進的減額を始めた。

九月には制度自体を終了するこ

と決めてくる。

しかし、五安橋西で駿油を含む

輸入物価が高止まりする中、補助

金の減額がガソリン価格が再高騰

する可能性を招く形となつた。

帝国データバンクの調査によると、食料品の値上げは今年七月の中旬までに二万円を突破し、昨年全体会の数値を上回る五百千億円近くにな

っている。薬局やガス料金も高い上

に、ガソリン価格の高騰が加わ

れば、消費者が一気に手元で

経済成長は阻ひ、生活困窮者を増

らむに増もしかねない。

輸送費の高騰が直ちに材料費に

反映され飲食店への影響も深刻

だ。東京商工リサーチによれば、

今年一~六月の飲食店の倒産は前

年同期比78・9%増と上半期では

過去最多を更新した。ガソリン価

格の高騰が追い打ちをかけ、コロ

ナ禍を乗り越えつづった「街の

灯」を再び消しながら。

織りひとと小さな企業を救うため

に必要なことは政府の迅速な行動

だ。石油元売り会社への補助金改

正を始め、「エコカー税額」の改定

を実施してほしいが、既に本大震

災の復興支援などを強化するため

に凍結され、依然には法改正が必

要だ。臨時国会を開催して法案を提出し、政府と国会は協力して「街の灯」を守り抜きを示すべきである。

ガソリン高騰

「街の灯」消さぬ支援を